

令和7年度 福井市社西小学校スクールプラン（未完）

校訓 賢く 強く 優しく

【福井市学校教育目標】
郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成
【福井市学校教育方針】
学びをつなぐ・未来につなげる
～『つながる』を大切にしたい学校づくり～

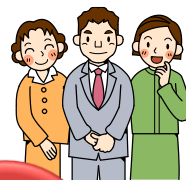
【めざす教師像】
◎子どもに寄り添い、
よさを引き出す教師
◎高い同僚性を持ち、
共に高め合う教師
◎自ら学び続け、挑戦する教師
◎信頼され、魅力ある教師

【保護者の願い】
・確かな学力を身につけてほしい
・夢や希望をもって学んでほしい
・元気な挨拶ができるようになってほしい
・思いやりのある子になってほしい
・地域を愛する子になってほしい

【地域の願い】
・積極的な情報発信や学校公開
・地域の人材・自然や歴史等を生かした
地域学習
・学校ボランティアの募集
・児童の地域行事への参加

学校教育目標 自他ともに、よりよく生きようとする心豊かで活力ある児童の育成

【研究主題】
主体的に学び確かな学力を身につける授業づくり
～児童の自己調整力を伸ばす学びの工夫～



学びに
わくわく

育ちに
わくわく

子どもも大人も わくわくする学校

めざす学校像

めざす児童像

かしこい子 ・自ら考え、自ら学ぼうとする子
つよい子 ・がまん強く、最後までがんばる子
やさしい子 ・思いやりの心を持ち、互いに認め合える子

探究に
わくわく

支えに
わくわく



一緒に
わくわく

ーわくわくLABやしるにー

重点目標

わかる授業づくり

- ① 「教え」から「学び」を意識した授業改善
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業
- ③ 学びの基礎基本の定着、確かな学力の習得

居場所づくり・絆づくり

- ① 心理的安全性の高い学級づくり
- ② いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応
- ③ 自己有用感を高める異学年交流の工夫と実施

心づくり・体づくり

- ① 健康な心と体づくり
- ② 特別支援教育・教育相談の充実
- ③ 人権教育・道徳教育の推進

家庭・地域から信頼される学校づくり

- ① 積極的な情報発信と学校公開
- ② 近隣幼小中学校との連携を強化
- ③ 公民館、関係機関との連携協力の推進

具体的な取組

- ・知識がつながり「わかった」「できた」「やりたい」と思える授業づくりに努める。
(児童も教員もわくわくする授業の実践)
- ・「考える」「伝え合う」活動を重視する。
(豊かな言語力の育成)
- ・学び方を学ぶ授業づくりに努める。
(自律した学習者の育成)
- ・教員同士の学び合いや一人一授業を行ったり、
外部講師を招いての研修を行ったりして、
授業に取り入れていく。(協働研究)

- ・授業に主体的に取り組んでいる……児 80%
- ・本校は、主体的に学べる授業の実践に熱心に
取り組んでいる……教 95%

- ・児童の主体的な活動につながる場の設定を行うなど、
学級活動の工夫、充実を図る。
- ・学級活動、委員会活動等において児童に一人一役を与
えるなど、自己有用感を高める活動の充実を図る。
- ・「いじめアンケート」の実施方法を工夫し、より深い児童
理解、いじめの早期発見、早期解決を行う。
- ・実施方法を工夫し、月1回縦割り活動を行う。

- ・学校が楽しい……児 90%
- ・自分はみんなのために役に立つことができる…児 80%
- ・自分はいじめを見たら、大人に知らせたり、止めたり
することができる。……児 100%
- ・みんなで何かをするのは楽しい……児 95%

- ・基本的な生活習慣を整えることの大切さを指導し、アンケ
ートを実施して啓発する。
- ・「心のお天気」や教育相談週間の設定と SC 等の活用により
積極的な教育相談を展開し、個別支援に生かす。
- ・行事ごとに学級・学年で目標を考えさせ、達成させること
で、目標をもつ習慣と達成したときの喜びを味わわせる。
- ・夢を育むキャリア教育を推進する。
- ・人権週間はもちろん年間を通して、全校道徳や親子道徳、
読み聞かせ等を行い、人権意識を育てる。
- ・防災訓練や安全教育等、命を大切にする意識の向上に努める。

- ・健康な体づくりに取り組んでいる……保 90%
- ・相談すると丁寧に対応してくれる……児 90%
- ・将来の夢やめざす目標をもっている……児 85%

- ・ホームページ、メール等により学校から積極的な
情報発信を行う。
- ・児童、保護者に相談しやすい体制を整え、きめ細や
かな支援に努める。
- ・「困った」が言える、受け止められる職員室づくりに
努める。
- ・長期休業前には、家庭教育啓発チラシ(基本的な
生活習慣、情報モラル等)を配布し啓発を図る。

- ・学校は教育方針や教育内容を適切に伝えている
……保 95%
- ・学校は相談しやすい……保 80%
- ・温かく指導している……保 90%
- ・意欲をもって働くことができる……教 100%

【業務改善のための取組】

- ・各種アンケートに ICT を活用し、集計等の効率化を図る。
- ・会議資料、おたより等ペーパーレス化に努める
- ・長期休業前後は1校時程度下校時刻を早め、教員が業務に取り組む時間を確保する。
- ・職員会議や校内研修等の「時間」を大切にする。(タイムマネジメント・インフォーマルな対話の促進)
- ・保護者からの欠席等の連絡は、QRコードを読み取り、スマホやPCから行う。